模範解答例（RC 造 × 合理化）

本工事は延床面積○○㎡、地上○階建て RC 造○○の新築工事である。鉄筋工事では、天候による作業への影響を抑えるとともに、火気使用に伴う防護・養生や現場での加熱作業を削減して省力化を図るため、ガス圧接継手からねじ式機械継手へ変更した。

施工にあたっては、継手部の所要の引張強度および剛性を確保するため、鉄筋の挿入長さをマーキングにより全数確認した。また、継手部が採用工法で定められた施工基準を満たしていることを確認し、確認結果を記録するとともに施工状況を写真で保管した。

その結果、火気使用に伴う防護・養生や現場での加熱作業を削減し、継手作業を省力化することができた。また、天候による作業への影響を抑えることで鉄筋工事を計画どおりに進めることができ、継手部の品質を確保しながら工程の遅延防止につなげることができた。

この模範解答のポイント

- **工事概要**を明記し、どのような工事での施工経験なのかを分かりやすく示している。
- **合理化の目的**を「天候による影響の低減／火気使用に伴う作業の削減／現場作業の省力化」と明確にしている。
- ガス圧接継手からねじ式機械継手へ変更しただけでなく、**挿入長さの全数確認・施工基準の確認・記録写真の保管**まで記載し、品質確保のための管理内容を具体的に示している。
- 結果では、「防護・養生作業の削減／加熱作業の削減／天候による工程への影響の低減／工程遅延の防止」と、合理化によって得られた成果を複数示している。

※工事概要の規模・用途については今回の問題内容から確認できないため、「○○」部分は実際に担当された工事内容に置き換えてください。また、「規定トルク値」については採用したねじ式機械継手の施工要領によって管理方法が異なるため、模範解答では特定の数値を設定せず、**実際に採用した工法の施工基準に沿った表現**としています。